

『2016年敷島公園まつり』

～体験、わくわく群馬県～

森林整備部 技術普及課

特順番待ちする程、
大賑わいのしおり作り

関東森林管理局では、昭和51年から毎年春に、森林・林業や国有林野事業をPRする「グリーンフェア」を実施してきました。今年も4月29日、県立敷島公園で行われた「敷島公園まつり」のグリーンゾーンにおいて、関東森林管理局ブースとして参加し、(公社)群馬県緑化推進委員会等とともに「みどり」を守り・育て・活かすことの大切さを発信しました。

この日は晴天にも恵まれ、敷島公園には昨年並の約2万1千人もの方々が来場し、関東森林管理局のブースも順番待ちが途切れることない程賑わいました。



森のかけらでストラップ作り

法被やのぼりで
8月1日「山の日」のPR

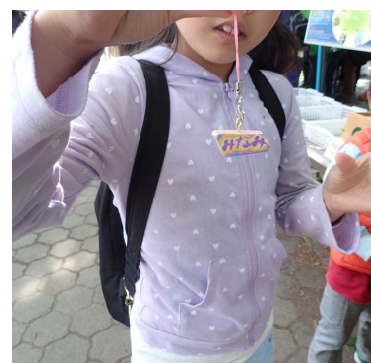
当日は、技術普及課と赤谷森林ふれあい推進センターが協力して、今年8月1日より施行される「山の日」のPRや「木のしおり」「ロケット・



緑の募金協力者への苗木の配布会(局長)

リーフ」「森のかけらストラップ」作りの体験等を行いました。

この他、(公社)群馬県緑化推進委員会、群馬県、前橋市、(一財)群馬県森林・緑整備基金、関東森林管理局が連携し「緑の募金推進中央キャンペーン」としてブルーベリー、ハナカイドウ、ローズマリー、ハコネウツギの苗木配布会を開催し、広く緑化の普及を図るとともに、緑の募金へのご協力をいただきました。



出来た! 森のかけらのストラップ

ブースで子ども達のお手伝い
(ミス日本みどりの女神)今年も大盛況の苗木配布会
(局長とミス日本みどりの女神)

また、今年は「ミス日本みどりの女神」が、苗木配布者として参加され、配付の後には、関東森林管理局のブースで、子ども達と楽しく会話しながら、しおりやストラップ作りのお手伝いをされました。